

野党統一候補

東北6県中4県で勝利!!

「東北野党共闘4勝 自民2議席惨敗」

河北新報 22日付

比例

日本共産党 4議席獲得 紙智子さん 4選果たす

日本共産党と野党統一候補に寄せられた、みなさんのご支持に心から感謝いたします。ともに奮闘していただいたすべてのみなさんのご支援に感謝申し上げます。

7月21日投票で行われた参議院選挙は、「自公と維新の改憲勢力」対「市民と野党共闘」という対決構図となりました。参院選挙の全体の結果できわめて重要なのは改憲勢力が、改憲発議に必要な3分の2を割ったことです。

東北では6選挙区中、4選挙区で野党統一候補が勝利しました。惜敗した2選挙区も善戦健闘し今後の展望を開きました。このことは改憲策動に痛打を与え、政治的局面を変えました。今回の選挙は、自民党が東北6県を激戦区に指定し安倍首相や菅官房長官をはじめ幹部が二度三度と次々東北入りし、野党共闘を分断するため激しい反共攻撃を繰り返していました。

しかし「おごらず底流の声を聞こう。東北の有権者の農業政策への不信、円安の恩恵は地方にまで及んでいない、秋田ではイージスアショア問題が影響した、一連の問題発言の緊張感のなさへの怒り、東北からの

当選した東北の野党統一候補の皆さん



「参議院選挙の結果を街頭から報告する紙智子氏（中央）高橋ちづ子衆議院議員（右）、ふなやま由美氏（左）=26日、仙台市」

厳しいシグナルを軽視してはならない」（河北新報7月22日付け社説から抜粋）と報じられています。比例代表選挙では東北、北海道を活動地域とする紙智子参議院議員が4期目の当選を果たしました。東北での比例得票は30万7898票（得票率8.16）で、直近の国政選挙である2017年衆院選と比較して得票数は2661票減りましたが得票率では0.77ポイント伸ばしました。目標とした得票率15%には届きませんでした。

今回の選挙で日本共産党は野党党首会談での合意を受け、党の候補者を取り下げ一本化しました。ふなやま由美（党宮城県常任委員）・藤本ゆり（党秋田県常任委員）比例候補は野党共闘と党の勝利のため役割を發揮しました。選挙を通じて心が通う共闘関係が築かれ、相互に支援しあう取り組みも発展しました。今後とも、統一候補とともに政策実現めざして努力してまいります。

東北ブロックでは「安倍政権退場を」と「9条を守り、農林漁業・震災復興・原発ゼロ・くらし守る新しい政治を」の旗を掲げ全力をつくしました。

紙智子参議院議員は、当選が確定した朝から北海道と東北6県を回り「東北で野党統一の新人候補4人が、自民現職を打ち破ったことは安倍政権に厳しい審判をつきつけました。憲法9条を守りぬくとともに10月に予定されている消費税10%増税を中止に追い込み、国民のくらし優先の政治へ、市民と野党の共闘を広げ公約実現に全力を尽くします」と訴えています。

東北では仙台市議選、岩手・宮城・福島県議選など連続して重要な地方選挙が聞われます。候補者全員の当選のため強く大きな党づくりの力を尽くす決意です。引き続きご協力とご支援を心からお願いたします。

国政選挙・日本共産党東北ブロック比例得票・率推移

	2019年参院比例		2017年衆院比例		比較増減	
	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
青森県	37,914	8.31	49,018	8.31	▼11,104	0.00
秋田県	37,129	8.09	30,024	5.77	7,105	2.32
岩手県	58,737	10.38	53,604	8.74	5,133	1.64
宮城県	75,669	7.89	74,632	7.44	1,037	0.45
山形県	34,902	6.51	34,153	5.83	749	0.68
福島県	63,547	7.99	69,128	7.77	▼5,581	0.22
合計	307,898	8.16	310,559	7.39	▼2,661	0.77

東北ブロックニュース 2019 7/30 158号

日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-28朝市ビル4階
電話 022-223-7572 FAX 022-264-2596
E-mail toblock@rose.ocn.ne.jp